

計画学基礎
Basic Planning Systems Analysis

教員名	横田 隆司(よこた たかし)、飯田 匡(いいた ただす)、伊丹 康二(いたみ こうじ)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパスS1棟8階823室(横田)、825室(飯田)、812室(伊丹) 06-6879-7647(横田)、06-6879-7648(飯田)、06-6879-7649(伊丹)							
E-MAILアドレス	yokota@arch.eng.osaka-u.ac.jp(横田)、iida@arch.eng.osaka-u.ac.jp(飯田) itami@arch.eng.osaka-u.ac.jp(伊丹)							
履修対象	地球総合工学科建築工学コース(2年次)							
単位	2	セメスター				3		
受講条件	特になし。なお、地球総合工学科のコア科目として船舶海洋工学コースの学生の受講は、やむをえない場合に若干名認めることがある。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築における計画の役割、配置計画や規模計画の手法、さらに外部空間の構成や都市デザインとのかかわりについて述べ、あわせて優れた事例の紹介により建築の計画の方法に対する理解を深めることを目的とする。なお、建築設計第一部と並行した授業進行を予定している。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○		◎					○
授業計画・概要	テーマ	概要						学習・教育 目標
	ガイダンス(1回)	授業のガイダンスと建築における計画の意味とその必要性について学習する。(高度1回)						A, C
	建築のデザインと 計画(3回)	建築をデザインする場合に必要な計画手法について、以下のように構造系、環境系、計画系ごとに学習する。(高度3回) a) 建築のデザインと構造計画 b) 建築のデザインと環境計画 c) 建築のデザインと建築計画						A, C
	計画システム (3回)	以下の計画モデルを題材に計画システムについて学習する。(高度3回) a) 都市デザインと配置計画 b) 建築デザインと規模計画 c) 人間の行動特性と計画						C, H
	空間デザインの基 礎(3回)	建築や都市における寸法やスケールなど、空間デザインの基礎となる概念について学習する。(高度3回) a) 設計と寸法の論理 b) ユニバーサルデザインと建築計画 c) 外部空間のデザイン						C, H
	建築デザインにお ける環境(4回)	建築デザインで重要な、空間の環境計画について学習する。(高度4回) a) 建築の構成要素と環境 b) 様々な光のデザイン c) 省エネルギーと建築デザイン d) 環境と共に生きる建築のデザイン						C
	学期末試験(1回)							
教科書	柏原士郎編著「建築デザインと環境計画」、朝倉書店							
参考図書・文献等	柏原士郎編著「建築デザインと構造計画」、朝倉書店 柏原士郎著「地域施設計画論」、鹿島出版会							
成績評価方法・評価基準	学期末試験(80%)および小レポート(20%)で評価する。							
オフィスアワー	随時e-mailにて対応する。							
コメント	授業評価アンケートの結果等を参考にして講義内容を改善します。							